

全国いじめ問題子供サミット参加！！

先日、全国いじめ問題子供サミットに本校生徒会長が参加しました。今回は、ZOOMを使用したオンラインでの会議になりました。

今回、参加して学んだことを踏まえ、生徒会長からメッセージを書いてもらいました。



この度は、全国の小中学校の人たちと意見交換ができるという貴重な経験をさせていただきました。年代や地域によって、取り組み方は様々でしたが、情報の提供や交換、そして皆がお互いに交流を持つことや触れ合うことが大切だという声がたくさんありました。また、「いじり」のつもり言動だとしても受け取る側が嫌な思いをしたら「いじめ」になってしまうので、自分たちの言動には相手を思いやる必要があります。受け取る側も全てを悲観的に受けとり過ぎないことも必要かもしれないという意見が出ました。

機会を作っていただけるなら、このような他校の様々な取り組みを具体的に皆さんに紹介したいです。

妙典中学校では、オレンジリボンキャンペーンがあるので、今回の経験を活かし、新たな取り組みへのチャレンジや今まで行っていた取り組みをバージョンアップすることで、いじめをゼロにしていきたいです。

生徒会本部役員も、見えないところで妙典中学校がより良い学校になるように努力しています。みんなの力でさらに過ごしやすく成長しあえる学校づくりをしていきましょう。

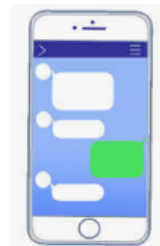
また、現在、全国的に増えている問題として、SNSでのトラブルがあげられます。SNSは便利なものではありますが、使い方によっては相手を傷つけるものにもなります。

特に、文字だけのSNSは、表情や声などが見えたり聞こえたりしないためトラブルにつながりやすくなります。話をしているつもりでも、いつの間にか相手が傷ついたり、悲しんでいたり、怒っていたりすることもあります。

「文字だけだと気持ちが伝えづらい」ということも知っておき、使用することが大切です。

また、書き込んだ文字や掲載した写真等は、SNS上に残ったり、他の媒体を通して広がったりするため、簡単には消去できず取り返しがつかない事態となってしまうこともあります。

「いたずら」や「おもしろい」からといった理由でSNSに載せたものでも、刑法上の名誉毀損罪や侮辱罪、民事上の損害賠償請求の対象となりうるということも知っておき、みんなで正しく使用できるようにしていきましょう。



★ おうちの方へ ★

以前行ったアンケートの集計結果より、多くの生徒が自分のスマートフォンを所有しています。スマートフォンは、便利なものではありますが、使い方によっては、大きなトラブルにつながる可能性もあります。ご家庭で、使用の方法、時間、約束などについてしっかりと話し合い、正しく使用できるようにしてください。

感じ方はいろいろ

ここで1つ事例を紹介します。あなたはどのように感じるでしょうか？

*以下の内容は妙典中の出来事ではありません。

Aくん、Bくん、Cくんの3人は、休み時間や放課後、仲良しでいつも一緒にいる。Cくんは、他の2人よりかなり背が低い。最近では、AくんとBくんは、Cくんのことを「チビ」と呼び、「おいチビ、行こうぜ!」と呼んだりしている。CくんはニコニコしながらAくんとBくんについていっている様子が見られる。

担任の先生や一部の子どもは、この「チビ」という呼び方が気になっている。このまま呼ばせていいのだろうか？

あなたは、どのように感じたでしょうか？

人それぞれ、感じ方はいろいろあると思います。

言われている人がどう感じるかもそうですが、周りが聞いていて「嫌だな」と思うこともあるということを知ることが必要です。

本人は「仲良しのいじり」のつもりでも、言われた相手や周囲の仲間を嫌な気持ちにさせていることがあるかもしれません。下ネタなども同様です。

本人同士は、楽しくても周りがどう感じるかも大切です。

妙典中学校には、生徒と先生合わせて900人以上が集団生活をしています。いろいろなことが起きるのは当然のことです。その中で、多くのことを学び、お互いを認め合いながら集団生活を送っていくことが学校で学ぶ大事なことのひとつなのではないでしょうか。

★ 確認 ★

2月14日（日）はバレンタインデーです。

祝日なので、個人的に渡すことは構いませんが、

「学校に不要物は持ってこない」という約束は、常に同じです。

再度確認してください。

